

陶都会だより 2024年 4月20日発行号

習字レクにて、利用者 H.N 様に題目を書いていただきました。

R6. 4月 ケアハウス 外出レク



どんぶり会館へ、お花見へ出かけました。桜も満開で、天気にも恵まれ季節を感じることができ、皆さん「綺麗だね」と笑顔で喜ばれていました。新年度の始まりとしていいスタートとなりました。

【今月の内容】

- ◆外出レク . . . 1
- ◆新年度の挨拶 . . . 2、3、4
- ◆嗜好調査結果報告 . . . 5
- ◆食事紹介・セラピー犬ちい . . . 6
- ◆農福連携事業 . . . 7
- ◆入社式・職員紹介 . . . 8
- ◆多容荘 新年度の挨拶 . . . 9
- ◆多容荘 . . . 10

陶都会オフィシャルサイト

<https://tohtokai.jp>

読み取りはこちら→



新年度 挨拶

【陶都会 常務理事】



【田中良夫】

平素は格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。ドリーム陶都は、3月で創設20周年を迎えました。今年度は、新たな取り組みとして「地域交流カフェ」がオープンします。駐車場も整備し、車椅子の方も雨に濡れることなく喫茶店をご利用いただけます。駐車場のスペースも広くしていますので安全です。

先日、敷地内にある満開の桜を利用者様と一緒に見に行った際、カフェに寄りました。車椅子のまま、ウッドデッキに出ることが出来ます。利用者様も眺めの良さと自然の風にあたり「とても気持ちいい」といわれました。まわりに建物もありませんので、下石や笠原の街を一望できます。風通しも良くウグイスの声も最高のBGMでした。カフェがオープンした際には、地域の皆さんには、是非お越しいただけたらと思います。

ご両親の介護、愛する人の介護のことで悩まれることがあると思います。一人で抱え込まずにご相談ください。ドリーム陶都には、専門職のプロが揃っていますからご安心ください。淹れたてコーヒーの香り味を楽しんでいただき、リラックスしてください。

カフェの隣には、「さくらいろ保育園」があります。こども達の元気な声や散歩している姿を見ていると自然と顔がほころんできます。利用者様も園児たちと触れ合うことでたくさんのエネルギーをいただいています。

カフェの前に畑もあります。車椅子で散歩が出来るように舗装しています。散歩コースには、最近まで山桜が満開で、ビニールハウスには、イチゴを栽培しています。収穫時期には、利用者様と一緒に収穫しています。収穫したイチゴは、おやつやイベントで提供しています。カフェでは、イチゴジャムを販売しています。（ブルーベリーもあります）夏野菜の収穫も楽しみです。

保育園の前には、小さい公園もあります。小さいお子さんと一緒にあそんでいただけけるスペースになっています。

このようにカフェを中心とした多世代交流が出来る環境となっています。地域住民の皆さんと一人一人繋がっていくことで、みんなが住みやすい街づくりを行うことが出来たらと思います。ドリーム陶都は、土岐市と災害時福祉避難所を締結しています。備蓄倉庫には、お水や非常食、ポータブルトイレ、簡易トイレ、発電機、ポータブル電源、簡易ベッド、マットレス、オムツなど準備しています。災害時は、ドリーム陶都も地域住民の皆さんの助けが必要です。地域交流カフェを通じて皆さんに社会福祉法人ドリーム陶都の目指す方向性を知っていただけたらと思います。地域交流カフェで皆さんとお会い出来る日を楽しみにしています。今後とも宜しくお願いします。

新年度 挨拶

【ドリーム陶都 施設長】



【小川大輔】

ドリーム陶都は 3/21 に 20 周年を迎えました。入所者様、家族様、地域の皆様始め、関係各所の皆様に御指導、御鞭撻を頂けた結果でございます。この場をお借りして、感謝申し上げます。

令和 5 年度は 4 月に敷地内にさくらいろ保育園が開園し、新たな交流も増え、農園に行くと園児たちの心地の良い声が聞こえてきます。そして、11 月には日本介護協会が主催した介護甲子園にて『優秀賞』を獲得し、年度末には駐車場・地域交流カフェの整備が完了

致しました。動きの多い 1 年であったように感じます。

令和 6 年度は、部長・リーダー制を廃止し、新たな組織の在り方を構築していきます。この組織の在り方は、福祉分野ではまだまだ前例が存在しない方法です。お手本はありません。ですが、これからの福祉業界にとっては、この方法がベストになる時が、近い未来に必ず訪れます。今のドリーム陶都の職員であれば、この方法で成し遂げる事ができると信じ、3 年間段階的に進めてきました。

ピラミッド型の組織ではなく、①職員個々が自分の役割を担い、自身の人生に使命感を持ち、家庭・地域・職場で輝く事のできる人材へ。②VUCA（ブーカ）の時代と言われる世の中で職員個々の人生が何事も心配なく過ぎ去っていく時代ではありません。個人にしかできない業務・思考ではなく常日頃から職員間で共有し、同じ思考で物事を考えられる組織へ。③不規則勤務の中で、職員管理には限界があります。限界が訪れると、その結果、経営・運営に支障を来たします。職員管理や業務管理をしなくても、組織を構築できる仕組みへ。

以上のような考えから、このような動きを進めています。これが「正解」というものではありません。職員間での「対話」を重ねながら経営・運営を進めて参ります。

新年度は、4・5 月で 8 名の方が入職されます。介護職員の人材難が叫ばれている時代に、このようにドリーム陶都に入職したいと思って頂けることはとても光栄なことです。今までの方法に固執することなく、新入職員の方々の「声」を大切にして、業務改善を図っていきます。

そして、今年度は新たに「地域交流カフェ」を中心とした、まちづくりを進めて行きます。施設内だけではなく、地域の方々、関係機関の方々に向けて地域交流カフェを活用した、イベントも開催して参ります。是非ご参加下さい。

21 年目に入った今年度、新たな一歩が始まります。これは、厳しい福祉業界で陶都会が永續していく為の、大切な一歩となります。一歩一歩着実に力をつけながら、歩みを進めて参ります。

今後とも何卒、御指導、御鞭撻頂きますよう、宜しくお願い申し上げます。

新年度 挨拶

【陶都会 事務局長】



2024年4月。皆様のご理解、ご協力のもと、ドリーム陶都敷地内に、地域交流カフェ、6次化加工室が完成しました。これにより、農園を中心とした多世代交流拠点の機能が整いました。今後は既存の高齢福祉事業、生活困窮者認定就労訓練事業、子育て支援事業(さくらいろ保育園さんとの連携)の相互交流が活発化される事で、陶都会に関わる全ての方の well-being の実現が期待できます。

また、こういった偶然なのか、時を同じくして、2024年4月1日から、孤独・孤立対策推進法が施行されました。推進法の趣旨としては、

「近時における社会の変化を踏まえ、日常生活若しくは社会生活において孤独を覚えることにより、又は社会から孤立していることにより心身に有害な影響を受けている状態にある者への支援等に関する

【田中良和】

取組について、その基本理念、国等の責務、施策の基本となる事項及び孤独・孤立対策推進本部の設置等について定める。「孤独・孤立に悩む人を誰ひとり取り残さない社会」、「相互に支え合い、人と人との『つながり』が生まれる社会」を目指す(内閣官房ホームページより) といった内容になっております。また、同じく2024年4月1日より、中部地方では初の岐阜県ケアラー支援条例が施行されました。今後、陶都会が、主に地域交流カフェ・加工室を活用して行う、地域における公益的な取組みと目指す部分が一致しています。

例えば、現在想定している主な対象者としては

- ①子供、子育て中の方 ②高齢者(要介護、要支援、生活に不安を抱えてみえる方とそのご家族)
- ③障害者とそのご家族 ④不登校、ひきこもりの方とそのご家族
- ⑤家族の日常生活上の世話等の援助を行うケアラー

※その他

制度の狭間で既存の福祉サービスに頼れない方、地域福祉を支える事業者、団体

具体的な事業内容としては

- ①育児相談・親子教室・交流会・ワークショップ・子供食堂・学習支援
- ②ドリーム陶都ご利用者のイベント、ご家族、ご友人との回らんの場・オレンジカフェ(認知 症カフェ)
高齢者が主役の農福連携(社会のとの接点、役割の創出)・介護予防教室
- ③④社会復帰に向けた相談・居場所、コミュニティづくり・就労体験・就労訓練(カフェ、6次化加工、農作業、介護補助)
- ⑤相談や心休まる居場所

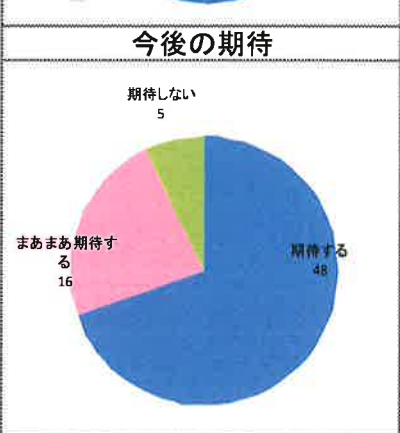
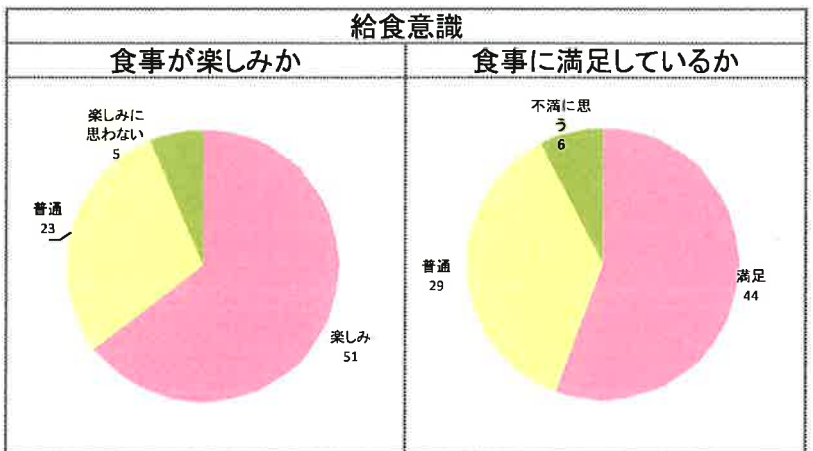
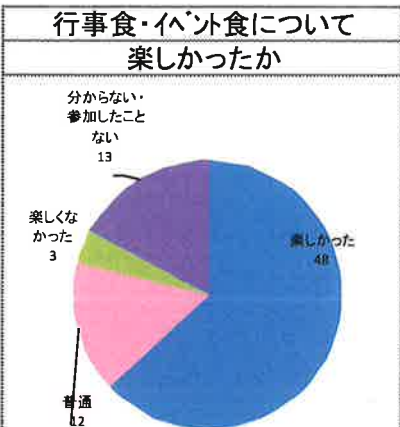
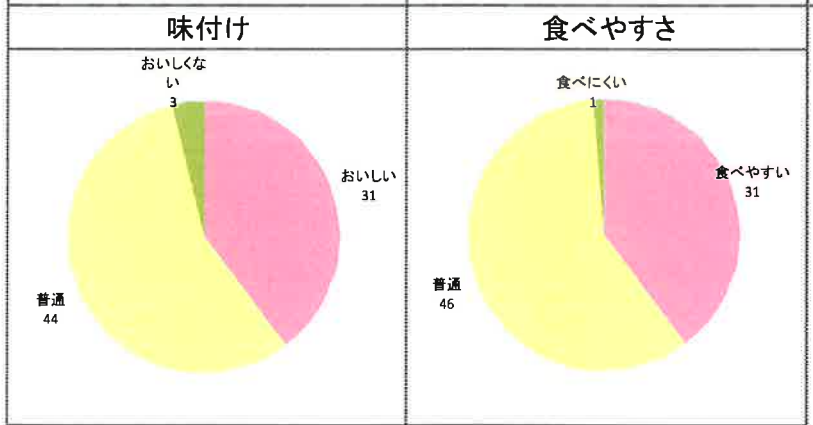
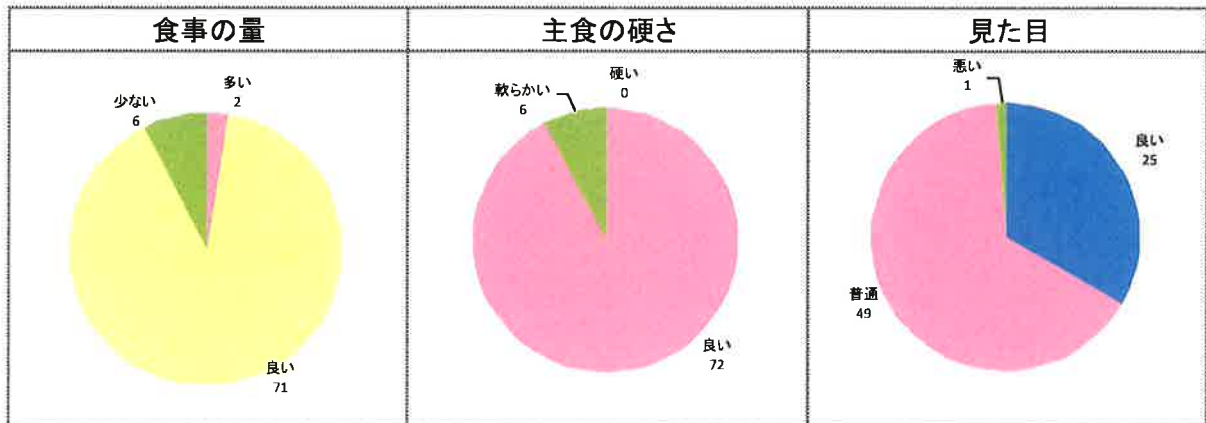
以上のような内容はどうかと現在検討中です。(様々な方からご意見、ご指導をいただきながら、今後更に詰めていきます)

取組みを通じた早期の問題発見、問題解決により、現状、福祉事業を行なう上で課題の1つとなっている「もっとはやく対応できていたら…」を解消するとともに、社会保障費の軽減にも寄与できればと思います。

また、孤独・孤立については、普段、支援をする側も例外ではありません。「仕事が生き甲斐」と頑張っている人ほど、そのリスクが高いように思います。対策として例えば、利害関係のない、職場や仕事関係以外のところで、多様な世代、また、自身とはちょっと異なる価値観の人と交流する、友人をつくるといった事を日頃から意識すると良いかもしれません。

2024年度は、孤独・孤立対策推進法の趣旨とも一致する、多世代交流拠点としての公益的な取組みを社会福祉法人の新たな使命と捉え、非営利セクターの福祉法人だからこそできる、やらなければならない実践を積み重ねて参ります。引き続き、ご理解、ご協力のほどお願いします。

R6. 2～3月嗜好調査結果報告



前年度はコロナにより様々な行事が中止となった為、寂しい年となりましたが、徐々に規制も解除され、食イベントを再開し始めた中での嗜好調査結果となりました。様々な食事に対する意欲を伝えて頂き、ありがとうございました。多くのご利用者様が「美味しいものが食べたい」と答えられており、可能な限りご要望にお応え出来るよういろいろなイベントを企画して参ります。今後もどうかよろしくお願い致します。

ご協力ありがとうございました！

R6.3~4月 食事紹介



次月の行事食

- 5/2 セレクトメニュー：プレーンヨーグルト or ストロベリーヨーグルト
- 5/8 パン食：ツマヨトスト、コーンポタージュ、グリルチキン 他
- 5/17 福岡郷土料理：博多風豚骨ラーメン 他
- 5/23、24 五平餅レク(1F・2F)
- 5/30 誕生日食：鶏の夕汁唐揚げ、フルーツのゼリー寄せ 他

鹿児島県郷土料理 【鶏飯】



鶏肉のほぐし身や具をのせたご飯の上からねぎと生姜が効いた御出汁をかけて頂きました♪



ひな祭りは女の子の元気な成長をお祝いする日です。雛人形は女の子を不幸から守ってくれるとされています。



お茶レクの
お茶掛け

セラピー犬「ちい」

セラピー犬ちいがドリーム陶都に来て、7年6ヶ月が経ちました。今回は、1月11日(木) さくらいろ保育園でのセラピー犬活動を報告します。岐阜県動物愛護センターとのコラボとなります。さくらいろ保育園では、初めての活動でしたので、こども達が、どのようなリアクションをしてくれるのか、期待と不安でいっぱいでした。でも、そのような心配は、不要でした。園児や先生方もみんな笑顔がいっぱいでした。その時の写真を掲載させていただきます。

4月11日(木)に、妻木グループホームでセラピー犬活動を行いましたのでその時の様子は、次回に報告します。

次号に続く・・・



農業 × 福祉

令和6年4月号

【春の訪れを楽しむ鶏】

暖かくなり、日向ぼっこをしている時間が増えました。
日中は暑いのか、日陰に集まって涼んでいます。

桜も満開になり、畑の周りには季節の雑草も生えています。
そんな雑草を鶏たちは、食後のおやつで食べています☆

夜の寒さもなくなり産卵数も安定してきています。
卵は利用者さんがとても綺麗に磨いてくれています！



【夏に向けての準備】

畑には3月に植えたじゃがいもが芽を出し始めました！

そしてビニールハウスでは、夏野菜の苗を育てています。
キュウリやローゼルは芽を出し始め、すくすくと育っています。

その他にはミニトマト・ナス・スイカの種をまきました。

**5月には育った苗を利用者さんと一緒に
畑に植え付けていきます☆**



【地元イベントでの販売】

ドリーム陶都でとれた新鮮なアローカナの卵
栽培期間中無農薬・無化学肥料のイチゴで作ったジャムは
地元で行っているイベントで販売をしています！

**土岐プレミアム・アウトレットでは3月に初めての出店をし
4月、5月にも出店が決まっています☆**



R6.4.1 (月) 入社式



令和6年4月1日新年度を迎え、陶都会に新たな仲間が加わりました。初めのうちは不安なことも多くあると思いますが、これから育成担当職員やその他職員の元で業務を覚えていきます。入所者、入居者の方々には大なり小なりご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、一生懸命頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

職員紹介

質問事項

- ①所属部署・職種
- ②趣味・特技
- ③抱負



氏名：さとう くにひこ 佐藤 邦彦

- ①介護職員・農福
- ②読書
- ③基礎と基本を大切に頑張ります。



氏名：よしまつ てるとも 吉松 輝友

- ①特養 3F・介護職員
- ②e スポーツ観戦
- ③前職の経験を生かして利用者様の気持ちを理解していきたいです。



氏名：あんどう ともゆき 安藤 智幸

- ①特養 3F・介護職員
- ②アニメ鑑賞
- ③入社して3か月目ですが徐々に業務にも慣れてきて利用者様ともコミュニケーションを図れるようになってきました。まだまだ分からないこと、いたらないことが多々あると思いますが、よろしくお願いいたします。

よろしくお願いいたします



新年度 挨拶

【多容荘 施設長】



新年度となり、多容荘は多治見市より陶都会への養護老人ホーム移管・開設から15年目、北栄地域包括支援センターは開設から7年目を迎えることができました。昨年度も様々な出来事がありましたが、大過なく運営出来ましたこと、関係者の皆様方、職員の皆様に先ずは心より感謝申し上げます。

【三輪慎二】 多容荘は高齢者が生活する施設ではありますが、介護施設ではなく「養護老人ホーム」です。養護老人ホームとは、「住まいなどの環境面や経済的な理由で、自宅での生活を続けることが難しくなった、概ね身の回りのことが自分でできる65歳以上の高齢者が、市区町村の措置によって入所できる施設」で、生活困窮状態の高齢者を受け入れる「最後の砦」、「セーフティネット」の役割、また陶都会の基本理念「真の弱者救済」を体現できる施設です。とても重要な役割を担う施設ではありますが、全国的には社会情勢など様々な問題で、施設数・定員数の減少がみられるなど、必ずしも必要性が高いとは言えない状況にあるかもしれません。本来であれば、それぞれの施設生活で生じる利用料や生活費などの自己負担分について、様々な理由により負担できない部分を福祉（市税）で支えられています。そのような特別な支援を受けながら、施設で生活されている入所者の皆様におかれましては、それぞれの状況・状態に応じた「自分らしい自立した施設生活」が継続できるように、それぞれが「意識」、「努力」、「協力」を心掛けた生活をしていただきたいと思います。施設生活内の自立支援はもちろんのこと、今年度は新たな取り組みとして、小規模ではありますが敷地内での農作業やドリーム陶都の農福連携事業での作業を通して、「社会的役割」や「生きがいの創出」「心身の健康維持・向上」に繋がるような自立支援を心掛けて対応させてもらいます。

現在、多容荘では養護老人ホームの他、北栄地域包括支援センター（地域で生活する高齢者の方を介護・医療・保健・福祉などの側面から支える総合相談窓口）、生活困窮者就労訓練事業（自立相談支援機関のあっせんに応じて、就労に困難を抱える生活困窮者（引きこもりだった人、精神疾患を抱えている人などすぐに一般企業等で働くことが困難な方）に対し、その状況に応じた就労の機会を提供しながら、一般就労に向けた支援を行う）を実施しています。今後も地域の方々が必要としている福祉事業に取り組んでいき、多治見市の福祉施策の実現に向けて、微力ではありますが協力させていただきたいと思っております。今年度も変わらぬ、ご支援ご指導の程よろしくお願い致します。

養護老人ホーム 多容荘

※写真掲載を希望されない方の顔は加工しております。

誕生日者食事会



3月誕生日者は2名。美味しいお寿司でお腹いっぱいです♪

HAPPY BIRTHDAY

R6.3.14 慰いの歌



楽器の演奏や手遊びと本日も盛りだくさん！皆さん真剣に取り組まれました。先生の独唱ではうっとり...

R6.3.6 ひな祭り会



今回のひな祭り会は、調理レクと合同で行いました。季節のいちごを使ってフルーツサンド作りです♪各々、いちごとバナナ、生クリームを挟んで食べます。お好みで、果物はそのまま食べられる方もみえました。

R6.3.20 慰霊祭



今年1年間の中に亡くなられた多容荘の仲間への哀悼の意を表して、お焼香をあげました。

R6.3.21 健康体操



タオルを使って、足も手も存分に動かすことができました。普段はしない動きに苦戦される姿もありました。